

ラージループアンテナ

TTL-241

工業用、科学用および医療用（ISM）高周波利用機器、動作周波数が100Hz以上の照明機器に対しては、30MHz以下の周波数帯においてループアンテナを用いて発生した電磁界の磁界成分の測定を行うように規定されています。

最近、このための測定法として、大きなループアンテナの中に供試機器を置き、機器から発生する妨害波の磁界によってループに誘導する電流を測定して放射磁界強度を評価する方法（バンビーンループ法）がCISPRで規定されています。この方法は、従来の一定距離（たとえば10m）離れた場所における測定法に比べて感度が高く、周囲の妨害波の影響を受けることが少ない上、従来の測定法との相関関係も得られるなどの多くの利点を有しています。

TTL-241は、直径2mの3個のループアンテナが3軸直交して配置されていて、それぞれに誘導電流測定用の電流プローブを装備して、同軸スイッチを通してその出力を妨害波強度測定器で測定し、放射電磁界を求めるようになっています。



機能および特長

項目	型名	TTL-241
周波数範囲		9kHz～30MHz
ループの直径		2m
電流プローブ感度		1V/A（負荷インピーダンス 50Ω）
供試機器用テーブル		テーブル上に設置できる供試機器重量：最大50kg
付属品		アンテナ出力切換・・・・・・・・・・1 同軸ケーブル（BNCP-3D2W-BNCP、5m）・・・1 制御ケーブル（5m）・・・・・・・・・・1 電源ケーブル・・・・・・・・・・1 製品台・・・・・・・・・・1
寸法		2100（W）×2570（H）×2100（D）mm
重量		約110kg

受注生産機種

使用する測定器（別売）	妨害波強度測定器	TNM-2401
	妨害波強度測定器	TNM-2402
	ラージループ校正用アンテナ	TTL-2401

※旧協立電子工業製の妨害波強度測定器のKNM-2401、KNM-2402、KNM-2403またはKNM-S243もご使用いただけます。